

校訓「三実」の精神に則った教育を行い、
地域社会を新たな価値創造の場へと導く人材を養成しています

合格、おめでとうございます。

大学合格という目標を達成すべく、長く苦しい日々を過ごされてきたことでしょう。合格通知を手にした今、晴れやかな気持ちとなり、決意を新たにされていることと思います。皆さんと、皆さんをこれまで支えて来られたご家族の方々に心よりお祝いを申し上げます。



学長 ^{あら い ひで お} 新井 英夫

松山大学は1923（大正12）年に創立された旧制松山高等商業学校がその始まりです。その後、本学は、松山経済専門学校、松山商科大学を経て、1989（平成元）年に松山大学と改称し、99年を経た現在では、5学部6学科と大学院6研究科を擁する総合大学にまで発展してきました。

現在、松山大学では、学生と教職員が密接にコミュニケーションをとることができる共同空間を確保し、学生が専門知識だけでなく多様な考え方に触れながら、広範な視野を持つことで時代の要請に応える能力を身に付け、社会に貢献できる人材となるよう、教育を展開しています。このような教育は、「真実」、「実用」及び「忠実」の三つの「実」からなる校訓「三実」に基づき、実施されているものです。「真実」とは、既存の「知」に満足することなく、真理を求めめるために自ら学び、究め続けようとする態度です。「実用」とは、「知」を単に知識として学ぶだけでなく、自らの生活や仕事の中に活かすべく、常に現実的な問題を念頭に置きながら学ぶ態度です。「忠実」とは、人間関係や社会において、他者と誠実に向き合い、倫理的な態度はもとより、積極的に人と交わり、自らを謙虚に、そして互いの意見を尊重し共有しようとする態度です。つまり、校訓「三実」は、社会のために有為な人材となるため、「真実」を究め、「実用」を充たす知識と技能を身に付け、「忠実」な人物にならなければならないことを意味しており、本学で学ぶ学生の拠り所となっています。

創立以来99年、社会に送り出した卒業生は約8万人に達し、産業界、教育界、官公庁等、幅広い分野で活躍しています。本学は伝統的に「就職に強い松山大学」と言われていますが、これは本学の教育プログラムが充実していることに加え、本学キャリアセンターが学生一人ひとりの夢を実現すべく、きめ細やかな就職支援を行っていることによるものだと確信しています。2022（令和4）年3月卒業生の就職率は97.3%でした。

本学は課外活動も大切な学びの場であると考えており、サークル活動、社会連携活動、国際交流活動等にも力を入れています。新型コロナウイルス感染症の影響により、一部活動が制限されていますが、学生たちは工夫をしながら、各種活動に取り組んでいます。また、2023（令和4）年に松山大学が創立100周年を迎えるにあたり、御幸キャンパスに文化会系・体育会系の新しい活動拠点「クラブ アクティビティ エリア（100周年記念施設）」を設置しました。体育館や共同練習場、卓球場・合気道場・ボクシングジム、サークルの部室などを備えた複合施設となっています。

科学技術の革新により、第4次産業革命時代が到来したと言われるなか、高齢化や少子化の問題を抱えた日本社会は、大きな転換期を迎えようとしています。私たちは、今、将来の予測が困難な状況に身を置いています。このような予測困難な時代を生き抜く、確かな力を身に付けるために、松山大学は学生一人ひとりと真剣に向き合い、それぞれの可能性を伸ばしていきます。松山大学に入学して、未来を見据えた学びを経験してください。

入学式で皆さんとお会いできることを楽しみにしています。